

2022年度大学院修士課程一般入学試験（第Ⅲ期）問題

研究科名	科目名
文学研究科 国際言語教育専攻	日本語（No.1）

問題Ⅰ 次の本文を読んで後の問に答えなさい。

とある地方の道の駅*でトイレを探していた際のことだ。「お手洗い場」という看板を見つけ、早速行ってみると、そこには洗面台しかなかった^①。つまり、文字通り、手を洗う場所だった< A >だ。

私たちが生活する世界は比喩的な表現に満ちている^②。「お手洗い」は普通、手を洗うことが主目的の場所ではない。（さらには言えば、公衆トイレの「洗面台」で実際に顔を洗っている人もまず^B見かけない。）また、「はらわたが煮えくりかえっている」ときも本当にはらわたが煮えているわけではないし、「断腸の思いでいる」ときも、本当に腸が断ち切れているわけではない。

そして、比喩的な表現は多くの場合、個別の習慣や生活形式(生活のかたち)、文化といったものと深く結びついている。たとえば、「成金」、「高飛車」、「駄目」、「一目置く」といった表現は、将棋や囲碁というゲームが生活に根差した文化以外では生まれえないものだ。また、「ガチャ」が比喩として成り立つのも、街中にガチャガチャ(ガチャポン)*が設置されているという状況や、多くの人がスマホのゲームで「ガチャ」を回しているという状況があつてのことだ^③し、「お手洗い」も、トイレの後に手を洗う習慣が存在しなければ、トイレやそこで用を足すことを指す言葉にはならなかつただろう。

昨今の新型コロナ禍において、この点を私があらためて実感したのは、「土足」に関してである。

世界がパンデミックの様相を呈し始めた頃、欧米と比べて日本の感染者数が比較的強く抑えられている要因がさまざまに推測されていた。そのひとつとしてよく挙げられていた^④のは、「日本をはじめとする特定の国や地域では、家に入るときに靴を脱ぐ文化がある」という< C >だ。そのような文化の方が、外で履いていた靴でそのまま家中を歩き回ったりベッドに寝転がったりする文化^⑤よりも、部屋のなかを清潔に保たれ、ウイルスの飛散や付着の危険性も低下するのではないか、というわけだ。

この憶測が——本当に妥当なものかどうかはともかくとして——盛んに^{けんでん}喧伝されたことは、私自身にとっては、自分が〈住居内は土足禁止〉という文化のうちで生活しているという、普段は気にも留めない事実を意識する機会になった。考えてみれば当たり前のことだが、たとえば「土足で踏み込む」とか「土足で入ってくる」といった表現は、家などのプライベートスペースに土足のまま入ることに対して強い拒否反応を示す文化内でのみ、独特の意味をもちうる。すなわち、他人のプライバシーや繊細な事情などを考慮せず、そこに無遠慮に立ち入って口を出したり詮索したりする、という意味である。

(出題の都合により、表記を改めたところがある。)

*道の駅：一般道に設けられた道路利用者用休憩所で、地域の特産品などを販売する場所

*ガチャガチャ：カプセルに入った小さなおもちゃの自動販売機の名称

2022年度大学院修士課程一般入学試験（第Ⅲ期）問題

研究科名	科目名
文学研究科 国際言語教育専攻	日本語（No.2）

- 問1. ____①について、なぜ「～しかなかった」と述べているのか、理由を説明しなさい。
- 問2. ____②を説明したものとして、最も適切なものを、次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。
- ア. 比喩的な表現は面白くて人気があるので、世界中の言語でよく使われている。
イ. 直接言いたくないもの、説明しにくいものなどを比喩で伝えることは珍しくない。
ウ. 日本語は比喩を使いすぎるので、外国人が理解できずに困ることがある。
エ. 生活の場を比喩的な表現で満たすことによって、楽しく暮らしていくことができる。
- 問3. 「お手洗い」と同じ比喩に分類されるものを、次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。
- ア. ごはんを食べる。 イ. 氷のように冷たい心をしている。
ウ. 彼は悪魔だ。 エ. 空が泣き出しそうだ。
- 問4. < A > < C >に入れる語として最も適切なものを、次のア～エの中から選び、それぞれ記号で答えなさい。
- ア. よう イ. もの ウ. ため エ. わけ
- 問5. ____Bと同じ用法のものを、次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。
- ア. まず、材料を洗い、次に細かく切って、なべに入れてください。
イ. どうなることかと思ったが、まずはこれで一件落着だ。
ウ. この調子だと、試合に出てもまず大丈夫だと思います。
エ. 彼が自分で料理をすることは、まずないと言ってよいでしょう。
- 問6. ____③の内容をわかりやすい日本語で説明しなさい。
- 問7. ____④が何を指すのか、具体的に説明しなさい。
- 問8. ____⑤は何を指すのか、何と比べているのか具体的に説明しなさい。
- 問9. 本文の内容に基づいて、「土足で踏み込む」とか「土足で入ってくる」という比喩表現が使われる理由を説明しなさい。
- 問10. この文章のタイトルとして最もふさわしいものを、次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。
- ア. 比喩は特定の生活形式や文化のなかで生きる
イ. 「お手洗い」は手を洗う場所ではなかった
ウ. 世界が認めた土足禁止文化
エ. 囲碁や将棋が生んだ日本語の豊かな比喩表現

2022年度大学院修士課程一般入学試験（第Ⅲ期）問題

研究科名	科目名
文学研究科 国際言語教育専攻	日本語（No.3）

問題Ⅱ 次の本文を読んで後の問に答えなさい。

「日本語は論理的な表現に適さない言語^①であり、そのせいで日本人は論理的思考が苦手なのだ。したがって日本語は科学論文を書いたり科学を語ることには向いていない」。今でもまだこのような言説を時おり耳にする。しかしほんとうにそうだとしたら、たとえば『科学』という雑誌自体が成り立たなくなる。

斎藤美奈子の『文章読本さん江』（筑摩書房）によれば、日本語は非論理的言語であるという件の「神話」は、谷崎潤一郎の『文章読本』に始まったという。そして三島由紀夫（『文章読本』）と清水幾太郎（『論文の書き方』）が肯定したことで強化された。

それでも論理的な文章を書く必要がある場合にはどうすればいいのか。清水幾太郎の勧めは、短い文章を心がけ、論理構造を明示する接続詞でそれらを結んでいけばよいというものだという。

だけどちょっと待ってほしい。そうすることで論理的な文章になるのなら、日本語だって論理的な表現ができるということではないのか。それでも日本語が非論理的と主張するのは、日本語ではなく、ご当人の頭が非論理的だからなのではと疑いたくなる。

言語学者、井上和子の言は、このあたりのことについてきわめて明瞭である。

「日本語は論理的表現に適さない言語だから、日本人は論理的表現を得意としない」と言われることがよくありますが、これは全く誤解です。そもそも、人間は生まれ落ちてから非常に短期間に母語を覚えるという事実があります。この事実は、人間である以上言葉というものが生まれながらに身に付いており、日本語が使われている環境に生まれれば日本語として発現し、英語の環境に生まれれば英語として発現するというふうに考えないと、とても説明することができません。（中略）ですから、英語で論理的な表現ができるのだったら、日本語でできないはずはありません^②。もし日本人が日本語を使って論理的な表現ができなかったら、それは日本語の責任ではなくて、私たちが言葉の仕組みについて意識をさせ、言葉の使用について訓練するというをちゃんと行なっていない、その結果であるというふうに思います。井上和子「学と日本語」科学技術の智プロジェクト第3回企画推進会議での講演より

つまり日本の社会で非論理的な発言や非論理的な文章が多いとしたら、それは論理的に語ったり論理的に書く訓練を受けていないからだというのである。

日本語非論理的言語論が出てくる所以^{ゆえん}の一つとして、井上は「黄色い花のついたバッグ」という文章を例にあげる。なんでもない文章のように見えるが、実は二通りの解釈^③が可能なのがわかるだろう。

日本語非論理的言語論者^④ならば、わが意を得たりとばかり、ほら見ろ、日本語はこんなに曖昧じゃないかと言うことだろう。しかし井上は、日本語にはこのような多義性があることを、早い時期から子どもに教えることで、言葉に対する感性を磨けば問題は解決すると説く。

（渡辺政隆（2020）『一粒の柿の種—科学と文化を語る』岩波書店、182-184。設問の関係上、本文を改めたところがある。）

2022年度大学院修士課程一般入学試験（第Ⅲ期）問題

研究科名	科目名
文学研究科 国際言語教育専攻	日本語（No.4）

問1. ____①について、筆者はどう考えているか。筆者の考えとその根拠を80～100字でまとめなさい。

問2. ____②に対する自分の考えを、理由や根拠を示しながら、説明しなさい。

問3. ____③とあるが、その二通りの解釈がわかるように、「黄色い花のついたバッグ」に読点（、）を打ちなさい。そして、その意味を説明しなさい。

問4. ____④の立場に立ったと仮定して、日本語が非論理的である理由を自分で考え、300～350字で説明しなさい。